

GREEN RADAR

Vol.513
2022

2

Contents

A-Policy【重点事業方針】

- ・生産販売部 きのこと課の取組み
- ・生産購買部 生産資材課の取組み

A-Reports

・年末年始の牛乳消費拡大に向けた取組み	4	・古往今来	9
・長野県畜産共進会過去最高単価の1kg5,670円	5	・今月のおすすめレシピ	10
・SNSフルーツフォトコンテスト「パシャフル!」4,600件超の応募	6	・JA全農長野の事業現況	10
・長野県産新米キャンペーンを実施	7	・2月のラジオ番組表	10
・JR松本駅で地元産花きを使ったアレンジメントを展示	7	・編集後記	10
・令和3年度食育の取組み	8		



きのこ課

生産販売部きのこ課の取組み
令和3年度事業概況

J A全農長野生産販売部きのこ課は、きのこ生産から販売に関わる各種課題解決に向け、市場に求められる商品供給と系統再結集を推進、実現することを目指し、令和3年度事業に取り組みました。

1. 生産体制の維持と品質および商品性向上策の実施

燃油や培地・出荷資材の値上がり、最低賃金の改定など、きのこ生産販売に掛かるコストは増高の一途をたどつ



パレット対応段ボールの輸送試験

ています。コスト抑制策として、2024年物流問題対策につながるパレット輸送対応段ボールの開発、販売優位性を見いだせていないPBなどのアイテム集約、(一社)長野県農村工業研究所が開発する品質改善と栽培コスト低減を目的とした課題解決型品種の導入、県域種菌供給体制維持に向けた「JA中核種菌センター方式」への移行準備を進めてきました。

商品性向上策としては、令和2年度に本格的な供給を開始した機能性表示食品えのきたけ(GABA)は、本年度は9取引先・供給数量前年度対比約190%を見込む規模となりました。本年度5月には栄養機能食品(ナイアシン)*注として、えのきたけ、ぶなしめじ各1アイテムを販売開始しました。さらに、注目されるSDGsへの取り組みとしてバイオマスフィルムを採用したえのきたけの販売を開始しました。また、業務加工向けの新規提案として、主力品目であるえのきたけ・ぶなしめ

じ・なめこ・エリンギを使用した冷凍食品3種を、健康食品宅配事業を手掛ける企業と共同開発し販売しました。
*注 特定の栄養成分補給のために利用される食品で、ナイアシンは皮膚や粘膜の健康維持を助ける栄養素です。

2. 需要動向を鑑みた計画生産と機動的な出荷調整による価格形成力強化

2年以上にわたる新型コロナウイルス感染症対策により、外食業務需要の低迷は継続したまま、家庭内需要も「巣ごもり消費」などトレンドの変遷はありながらも、きのこを含めた生鮮食品は必要量の購入にとどめる購買行動が定着しつつあります。このような環境下においては、安定した価格を確保し生産者経営を守ることが最優先となるため、春暖期における減産や需要拡大時の増産など需要に応じた計画生産を励行し、外部倉庫利用による出荷タイミングの調整や輸出事業による需給バランスの改善など出荷調整施策に取り

組んでいます。

海外への輸出は従来から需給バランス改善策として取り組んできましたが、本年度から北米向けとして産地JA出荷施設にて海上輸送コンテナに直接積み込み、国内輸送を行う仕組みを開発しました。8月の試験出荷を経て1月現在計5回の輸出が実現しました。

3. 系統結集と継続供給による系統きのこ有利販売の実現

中小規模の生産者が高齢化と後継者不足に悩み生産休止や廃業が進む一方、競合企業を含めた大規模な生産者はコスト抑制を目的とした生産量増強を企図するなど生産基盤の二極化は顕著となっています。売り場を維持するためには安定的な供給力が必要条件であり、産地集荷対策を強化する重要性が高まる中、JAと協力して生産者へ同行推進を行うなど系統結集への理解醸成を



ハンドリフトを入れ商品を直積みする海上輸送コンテナ内の様子

行いました。

中信地区JAでは10月から市場集約を考慮した有利販売実現のため、県内の卸売会社グループの協力を得て県内量販店への供給拡大を目標として集荷段階からの連携販売を開始しました。

4. 安全安心対策の励行

本年度の販売低迷時期に、改めて販売力を低下させる原因として浮き彫りになったのが異物混入と品質不良の発生でした。異物混入については、オガコ(木片)など栽培上使用が不可欠な資材であっても、消費者にとっては健康被害を懸念する要因となり得るもの

であり、収穫・包装時の調整や目視検査の徹底などJA・生産者と認識共有し改善につながるよう情報発信を強化しました。HACCP生産工程管理研修会(6月10日実施)、長野県安全安心研修会(8月23日実施)を各関係先と共催し、週刊情報「きのこトピックス」には具体的な発生事例と対策結果などを掲載しました。

流通関係者から競合企業と比較して指摘が多い課題であり、今後も優先的な取り組みを継続します。

5. きのこと売り場と消費の拡大および長野県産ブランド確立

アフターコロナにおいて、販売支援員(マネキン)投入による販促活動はコロナ禍

前と同様の実施規模や販促効果に回復する可能性は低いと考えられます。試食宣伝による販促力への再評価も聞こえ一部再開の動きがみられますが、ニューノーマルと言われる消費者の心理変化や量販店のサービス合戦の見直し、スタッフ人材の流出などを考慮すると特定の・限定的になると見込まれます。この状況への対応策として、従来から取り組んでいる各実需者の要望に応じた選択肢が提示できるよう、SNS(LINE、Instagram)を利用した実購入促進キャンペーンの新たな展開、きのこ売り場の装飾による差別化を目的とした信州力型アイキャッチ資材やデジタルサイネージ用調理動画の作成、市販調味料やカットアイテムのレンチンメニューなど家庭

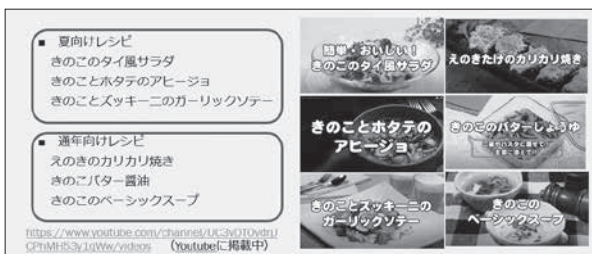
市販ドレッシング利用による簡便調理の食べ方提案レシピ



冷凍食品原料使用
株式会社ファンデリー「旬をすぐに」長野産きのこクリームで雪化粧
旨み積もったWハンバーグ連峰



信州力型アイキャッチ資材



デジタルサイネージ用きのこ調理動画



若年・ファミリー層へのリーチを目的としたSNSクローズドキャンペーン展開



カット商材の優位性を訴求する店頭用レシピPOP

生産購買部 生産資材課の取組み

「J A・県本部のシステム連携による業務効率化」

J A・県本部間のシステム連携の経過

J A全農長野生産資材課では、予てよりJ Aとのシステム連携についてアプローチを行ってきました。J Aから県本部への発注は電話とファクスでしたが、肥料農薬ではいち早くデータ発注に着手し、2007年に(株)長野県協同電算と「肥料農薬受発注システム」を開発しました。しかし、当時はJ A独自の商品コードや集約品名コードが利用されていたため、データでの単品発注の普及は難しい状況でした。そこで、J Aファーム各店から取引先へデータ発注を行う「J AファームWEB B E E D システム」の開発や、J Aでの単品管理への移行を受け、改めて肥料農薬についても「J AファームWEB B E E D システム」の仕組みを利用したデータ発注機能の構築を検討しました。

生産資材一括発注機能の開発

肥料や農薬は価格メリットがある時

期にJ A本所が買い取って倉庫に保管し、各売場に転送することが多い品目です。そのため、売場から取引先に直接発注を行うとJ A本所在庫が過剰となってしまう。時には、発注先を政策的に変更するという判断も求められます。このような品目特性に対応するため、「J A生産資材システム2011」で各J A売場からの発注を一旦本所に集約し、本所の在庫を確認しながら、転送や発注先の選択ができる「一括発注機能」を開発し、2020年6月より稼働しています(下図参照)。

バーコード受入機能

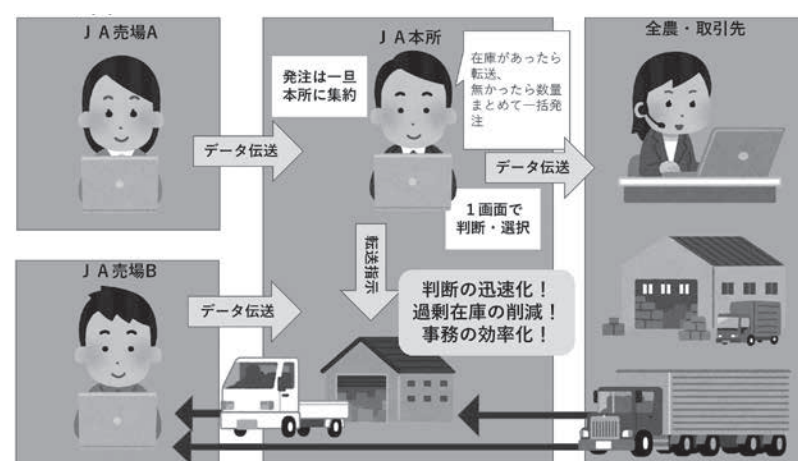
データ発注を受けた商品は、対応取引先であれば仕入伝票にバーコードが印字されます。このバーコードをJ Aでスキャンすると、仕入伝票の内容が画面に表示され、確認・確定で仕入入力完了します。従来のように、仕入先・品名コード、数量・単価などを手打ちする必要がなくなり、事務の効率

化と正確性が図られます。対応する取引先は順次増えてきており、農業資材(肥料農薬含む)全体伝票数の約50%をカバーするまでになりました。

今後の取組み

現在、WEBを介してのデータ交換は、小売業界や製造業の間では主流となっていますが、農業資材関係は全国的にもデータ化が遅れています。J Aファーム店などの大きな資材店舗では商品アイテム数が1万点近くありますが、一般的なJ Aの売場ではそこまでありません。また、農業資材の販売は季節性が高く、日配品などのように毎日一定の発注がない品目です。そのため、単品管理となってもデータ発注が定着し難い品目であることは否めません。しかし、SDGsへの対応(ペーパーレス化)や、人的ミスの減少(正確性の確保、発注分析のためにはデータ化が必要不可欠であり、今後取り組んでいくべきことであることは間違いありません)。

現在、「J AファームWEB B E E D システム」は各店舗で活用されていますが、一括発注機能の活用は3 J Aのみとなっています。今後、J A・取引先と協議を進め、データ連携を拡大し、J Aグループ全体の業務の効率化を進めて参ります。



一括発注機能イメージ図

年末年始の牛乳消費拡大に向けた取組み

J A全農長野酪農課は、牛乳の消費が低迷する年末年始に合わせ、消費拡大に取り組みました。

駅前で牛乳配布

J R松本駅前では12月23日(木)に通勤・通学利用者、25日(土)に休日のクリ



牛乳を配布する生産者(23日J R松本駅前)

スマスに合わせた買い物客、J R長野駅前では28日(火)に通勤・通学利用者それぞれ1,000人に、200 ml入りの牛乳と、牛乳と酪農を取り巻く環境を記載したパンフレットを配布しました。

厚生連に牛乳16,000本贈呈

コロナ禍の中で県内の医療を守ってきた医療従事者への慰労と健康管理に



J R長野駅利用者に牛乳を配布する職員(28日JR長野駅前)



丸山部長(左)に牛乳のオブジェを手渡す西澤部長

役立ててもらおうと、J A長野厚生連に県産牛乳16,000本(1本200 ml)を贈呈しました。贈呈は昨年からの継続し、3回目です。12月23日(木)にJ A長野県ビルで贈呈式を行いました。畜産酪農部の西澤孝典部長が「日頃の健康管理に尽力いただき、ありがとうございます。牛乳を飲んで体を労わってください。年末年始を乗り越えていただきたい」とあいさつしました。長野厚生連の丸山幸夫総務部長から「温かい心遣いがありが」といいます。日々の業務の活



「しなの木」での牛乳配布

して、しっかり対応していきたい」と感謝の言葉をいただきました。牛乳は、12月21日(火)から24日(金)に長野厚生連の9病院に届き、職員に配布されました。このほか、J A長野県ビルの食堂「しなの木」では、12月27日(月)から1月18日(火)まで休日を除く毎日、牛乳200本を配布し「二日1杯牛乳を飲みましょ」と消費拡大を訴えました。また、各連共通役員室と全農長野県本部長室の来客にも牛乳を提供しました。

長野県畜産共進会

過去最高単価の1kg5,670円

JA全農長野畜産課は、12月3日(金)に松本市の長野県食肉公社で第74回長野県畜産共進会交雑牛肥育の部、7日

(火)に大阪市の大阪市食肉市場で同共進会和牛肥育の部を開催しました。県内生産者が丹精込めて育てた交雑牛25頭と和牛48頭の中から、

交雑牛肥育の部は(株)グリーンフィールドの市川長俊さん(JA佐久浅間)、和牛肥育の部はアグリランド松本(JA松本ハイランド)が最優秀賞を受賞しました。

交雑牛の3等級以上比率は80%(4等級以上比率40.0%)、和牛の4等級以上比率は100%(5等級以上比率79.2%)、長野県独自のおいしさの基準をクリアした「信州プレミアム牛肉」の認定率は100%となり、交雑牛、和牛ともに品質が高い共進会となりました。

第74回長野県畜産共進会

和牛肥育の部 入賞者

(敬称略)

賞	JA名	生産者	性別
最優秀賞	松本ハイランド	(有)アグリランド松本	去勢
優秀賞1席	松本ハイランド	竹淵 洋平	去勢
優秀賞2席	松本ハイランド	(有)アグリランド松本	去勢
優良賞	南信酪農協	中原 洋	去勢
〃	みなみ信州	小原 伊佐夫	去勢
〃	松本ハイランド	桑原 睦雄	去勢

交雑牛の部 入賞者

(敬称略)

賞	JA名	生産者	性別
最優秀賞	佐久浅間	(株)グリーンフィールド 市川長俊	雌
優秀賞1席	佐久浅間	寺島 義則	雌
優秀賞2席	信州うえだ	(有)小田切牧場	雌
優良賞	佐久浅間	高塚 賢一	雌
〃	上伊那	長野県農協直販(株)手良農場	雌

共進会成績

種性別	平均枝肉重量	平均単価
和牛去勢	578.0kg	2,850円
和牛雌	511.1kg	2,560円
交雑牛去勢	552.9kg	1,404円
交雑牛雌	517.1kg	1,643円

ました。和牛肥育最優秀賞の枝肉は、コロナゼロの願いを込めて1kg5,670円と同共進会の過去最高値でセリ落とされました。

畜産課は、今後も長野県の肉牛事業発展のため、枝肉共進会や研修会などを開催して生産者の技術向上を図ると共に、販路拡大に努めて参ります。

SNSフルーツフォトコンテスト「パシヤフル！」

JA全農長野果実課は県産フルーツの消費拡大を目的に、2021年7月から12月の6カ月間、SNSフォトコンテスト「パシヤフル！」を開催しました。インスタグラム内で「旬の信州産フルーツ」をテーマにした写真・動画を募集し、全国から延べ4,600件を超えるご応募をいただきました。

新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、いわゆる「おうち時間」が増えたことを背景に、家族で信州産フルーツを楽しむ姿や、フルーツを使用したデザートなどの投稿が多く見受けられました。長野県外からは「リンゴはふじしか知らなかったが、シナノスイトをSNSで知って購入し、食べ比べをした」「ナガノパープルを初めて食べて感動し、リピートしている」と

いう投稿もあり、信州産フルーツの魅力を感じていただく機会となりました。

応募作品の中から毎月13点を優秀作品に選出し、県内JA産旬のフルーツをはじめ、米・肉・野菜の詰め合わせ等を贈呈しました。また、このコンテストとコラボレーションした「かんでんぱ」の商品セットも贈りました。

フォトコンテストは終了しましたが、今後も全農長野果実課インスタグラムアカウント「パシヤフル!(@shinshufruit)」では、県産フルーツのイベント情報や産地情報の魅力を発信し、全国に向けて消費促進を図って参ります。皆様のフォローをお待ちしております。



各月の入賞作品(※グランプリ作品は表紙下段)

米穀課

長野県産
新米キャンペーンを実施

～全国から11,636通の応募をいただきました～

J A全農長野米穀課は、新米が出回る昨年10月から12月に「長野県産新米キャンペーン」を行い、全国から11,636通の応募をいただきました。

キャンペーンは、対象商品の米袋に貼ってあるキャンペーンシールのシリアルナンバーを2つセットで応募すると、抽選で100名様に10,000円分のお米券、もしくは40名様に5,000円分

のデジタルギフト券をプレゼントするという内容でした。キャンペーン専用ウェブサイトで、料理研究家の河瀬璃菜さん監修の手軽レシピを公開し、ご飯を食べ

ていただくきっかけ作りを行いました。

当選者へのプレゼントの発送は、令和4年3月頃を予定しています。米穀課では、長野米のより一層の消費拡大をすすめるため、今後

も有効な企画を実施していきます。



レシピ動画は
こちらで公開中です

野沢菜となすの
ピリ辛いなり寿司



すきやき
炊き込みご飯



中信事業所生産販売課

JR松本駅で地元産花きを使った
アレンジメントを展示

J A全農長野中信事業所生産販売課

は、J A松本ハイランド花き部会共選部と長野県花きイノベーション協議会の協力を得て、12月28日(火)から1月6日(木)、JR松本駅改札内でJ A松本

お客様もいて、注目を集めていました。中信事業所生産販売課では、今後も管内花きの魅力を伝えられる消費拡大事業に取り組んで参ります。



令和3年度食育の取り組み

～味覚が育つ時期に、関心を高め、おいしさを知って～

J A全農長野大阪販売事務所は今年度、コロナ禍により宣伝活動に制限がある中、卸売会社や仲卸等と連携をして保育園や小学校の園児・児童を対象とした食育の取組みを実施してきました。農産物の美味しさを幼少期に体験し関心を高めてもらうこと、長野県産を知りファンになってもらうことを目的に、22カ所34回、述べ4,160人が体験しました。

大阪販売事務所では今後も、長野県産農産物のファンを増やす取り組みの一つとして、食育を進めて参ります。

新型コロナウイルス感染予防の観点から、全農長野の職員は参加せずに資料や食材を提供し、先生が農産物の説明を行いました。園児・児童は農産物に触りながら栽培の様子を学び、長野県産の場所を確認し、給食やおやつで提供された農産物を味わいました。また、自宅での体験を保護者に話せるように、手紙やノベルティ等のお土産を用意しました。先生からは、「皆で体験し食育することは、格別なおいしさだった」と報告をいただき、興味を持った食材をさらに調べた活動報告を廊下に掲出する園もありました。



五月丘こども園 (10/16白菜、きのこ)



たつのご保育園 (10/16ナガリパープル)



しおさいこども園 (11/2きのこ)



ふじのもり保育園・たつのご保育園・こすも保育園 (11/10きのこ)

JA全農長野の事業現況▶

令和3年度12月末部門別実績表

(単位：百万円、%)

区分 部門	実 績	計画比	前年比
野菜種苗センター	146	108	110
生産振興部計	146	108	110
米 穀	12,792	95	92
果 実	35,015	98	95
野菜花き	56,008	87	96
きのこ	13,009	82	88
営 業	11,897	89	94
生産販売部計	128,721	90	94
包装資材	6,474	87	95
生産資材	7,039	112	88
農業機械	4,809	94	68
施設住宅	3,093	101	95
生産購買部計	21,414	98	85
畜 産	9,934	102	104
三 岳 牧 場	186	99	96
SPF繁殖センター	228	99	99
酪 農	14,465	106	105
八ヶ岳牧場	181	92	102
畜産酪農部計	24,994	104	105
燃料・ホームエネルギー	19,475	119	125
S S 協 同 経 営	5,394	117	92
生 活	6,949	96	97
生活部計	31,817	113	111
長野県本部計	207,091	95	97

(内部販売高含む)

2月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
2/23(水・祝) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんの ずくだせえぶりでい内 「暮らしの応援団」	野菜花き課

グリーンレーダーの ツイッターを始めました

JA全農長野
【公式】グリーンレーダー

@ja_greenradar



祝！御嶽海初場所優勝。われらが御嶽海は、初日から好調をキープして最後はドラマチックに千秋楽横綱照ノ富士を鮮やかに破り3回目の優勝となりました。今場所は、体のキレが感じられ、立ち合いの時の目つきの違いを感じました。来場所は、大関昇進確実と言われていますので、ますます楽しみが広がります。さらに上を目指してがんばれ御嶽海！

さて、年が明けてあつという間に1カ月が過ぎました。寒さが一段と厳しくなり、春の到来が待ち遠しい季節です。2月は如月とも呼ばれ、語源は「寒くて更に衣を着る」衣更着（きぬぬがせ）から来たとも、「陽気が発達する。時期、気が更に来るから」気更来（きさらぎ）とも言われています。

2月3日の節分は季節を分け、4日は立春。暦の上では春がやってきます。季節の変わり目に邪気を払って無病息災を願う豆まきと共に、最近では全国的となっているのが恵方巻です。福を巻き込んだ太巻きを恵方（今年は北北西だそうです）を向いて願い事をしながら丸かじりします。何れにせよ福を呼ぶ慣習は取り入れ、この一年がよい年であるように願ってやみません。

（一）

(T)

🍴 今月のおすすめレシピ /

焼きそば麺で、
きのこたっぷり担々鍋



レシビ考案 びあん(大口知子)

■材料 (2人分)

- | | | | |
|--------|-------|-----------|------|
| ・えのきたけ | 200g | ・みそ | 大さじ2 |
| ・ぶなしめじ | 200g | ・しょうゆ | 大さじ1 |
| ・水 | 600cc | ・ごま | 適量 |
| ・ショウガ | 1かけ | ・ごま油 | 大さじ1 |
| ・豚ひき肉 | 150g | ・白ネギ | 1/2本 |
| ・豆板醤 | 大さじ2 | ・焼きそばの蒸し麺 | 2人分 |
| ・すりごま | 大さじ3 | | |

■作り方

- ① えのきたけは石づきを切り落とし、半分の長さに切る。
ぶなしめじは、石づきを切り落として小房に分ける。
- ② 土鍋に水を入れて火にかけ、①のきのこを入れる。沸騰したらショウガのみじん切りと豚ひき肉を入れてパラパラにほぐす。アクが出たら取り除く。
- ③ 豆板醤、すりごま、みそ、しょうゆを入れてかき混ぜる。沸騰したら、ごま、ごま油、スライスした白ネギを入れふたをして火を止める。
- ④ 焼きそばの蒸し麺は、袋の端を少し切ってあけ、電子レンジ 600W で 1 分加熱し、ザルに取り出してお湯をかける。水気を切って、皿に盛り、鍋と共に卓上へ。

 ワンポイント
アドバイス

- ・きのこの旨みが増す酵素が働くのは、60～70℃。
- ・汁物調理には、火にかける前の水にきのこを入れ、じっくり加熱で汁ごとおいしく！

編集後記

祝！御嶽海初場所優勝。われらが御嶽海は、初日から好調をキープして最後はドラマチツクに千秋楽横綱照ノ富士を鮮やかに破り、3回目の優勝となりました。今場所は、体のキレが感じられ、立ち合いの時の目つきの違いを感じました。来場所は、大関昇進確実と言われているので、ますます楽しみが広がります。さらに上を目指してがんばれ御嶽海！

1

さて、年が明けてあつという間に1
力月が過ぎました。寒さが一段と厳し
くなり、春の到来が待ち遠しい季節で
す。2月は如月とも呼ばれ、語源は「寒
くて更に衣を着る」衣更着（きぬさ
らぎ）から来たとも、「陽気が発達す
る」時期氣が更に来るから「氣更来
（きさらぎ）」とも言われています。

9.

古往今来



▲2006年2月号



▲2004年5月号

▶次号は、JA長野県営農センターの発足について掲載します。



▲2001年10月号



▲2002年10月号

小平奈緒は、 「信州」を食べて 育ちました。

スピードスケート
小平奈緒 選手
所属：相澤病院（松本市）



光と風と水のハーモニー
JA全農長野



光と風と水のハーモニー
JA全農長野

JA 全農長野ホームページ…………… <https://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JA タウン」…………… <https://www.ja-town.com>

